

自分たちの地域は自分たちの手で

「がまだす地域づくり交付金」を活かし、さらなる地域力アップ



写真:古紙類を受け取る 久原自治会班長 田中好春さん(左)

高齢化社会の進展により、地域で支え合うことの重要性が再認識されています。その中核となる町内会・自治会における、地域の見守り、ごみ収集、自主的な清掃活動などの取り組みを市では支援（「がまだす地域づくり交付金」）しています。

写真は、一人暮らしの人に声掛けするとともに、10月から新たに始まった「古紙回収」を手伝う久原自治会の取り組みの様子です。

「がまだす地域づくり交付金」とは

市では、地域コミュニティ活動の維持・促進のため、平成24年度から「がまだす地域づくり交付金」を創設し、町内会・自治会が取り組む事業を支援しています。

3つのメニュー

当交付金の対象事業として、次の3つのメニューがあります。

- ① 地域見守り事業：高齢者の見守り、ごみ出し支援など
 - ② 環境美化事業：地域清掃活動、植栽運動など
 - ③ 絆・交流活性化事業：世代間交流イベントの開催、地域の伝統行事の継承など
- 地域のさらなる活性化に向け、これら交付金などの活用により、町内会・自治会の取り組みの推進が期待されています。
- 詳しくは、政策企画グループ政策振興班（☎ 11111内線141）へ問い合わせてください。

「地域見守り事業」イメージ (ごみ出し支援・声掛け)

町内会・自治会で高齢者や一人暮らしの人を訪問し、ごみ出しの手伝いや声掛け（安否確認）を行っています。

元気ですか？
何か困ったことはありませんか？



地域をより良くしたいという思いが大事

以前は「向こう三軒両隣り」といって、近所みんなが顔見知り互いに助け合っていました。最近「引越してきても誰が越してきたのか分からない」という声を多く聞くようになりました。

町内会・自治会活動はややもすれば「させられている」と感じる人がいるかもしれません。しかし、意識を変え「自分たちの地域は自分たちの手でより良くするんだ」という気持で、たくさんの人に地域活動に参加してほしいですね。



久原自治会長
松本 力さん



町内会・自治会はさまざまな活動を通して、より良い地域づくりを進めています。皆さんも、自分のため、地域のために、町内会・自治会活動に参加してみませんか。

町内会・自治会加入に関することは、お住まいの町内会長・自治会長または政策企画グループ秘書広報班（☎ 11111内線124）へ問い合わせてください。